

提案骨子 | 管理運営の基本方針

スポーツ・エンタメのベストミックスと味の素スタジアムとの一体運営を達成した指定管理第1期目の運営実績を継続し、2期目は多摩地域のスポーツ振興拠点としてのさらなる発展を目指します。

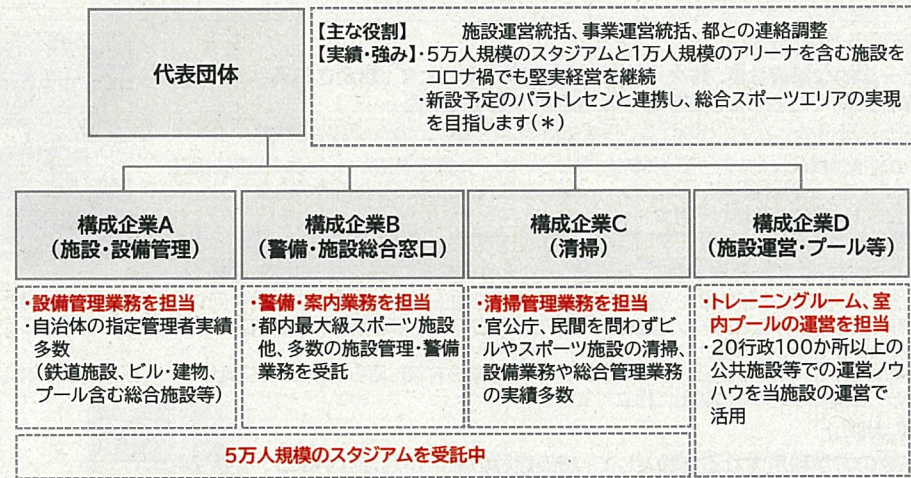
特に重視する管理運営の視点

コロナ禍でも安定経営となるよう、堅実な施設運営を継続するとともに、さらなる地域貢献の拡大を目指します。

- 【安定経営の実現】** 収入最大化と実績に基づく支出削減で、指定管理料を参考価格の1.61億円に集約
- 【スポーツ振興】** 東京2020大会レガシーの継承と地元連携のさらなる拡大を実現し、スポーツの魅力を強力に発信
- 【高い安全性】** 地域を熟知した避難・防災計画の立案・実行と危機管理の徹底、地域住民との友好関係継続に自信
- 【地域ニーズへの対応】** 人口動態や利用者の声をもとにしたプログラム展開や地元との新たな連携で多彩な新規事業を展開
- 【賑わいの創出】** 地域スポーツ振興だけでなく、エンタメ・文化発信にも注力し、地域の魅力を向上

【応募グループの構成】

●指定管理1期目で組成した構成企業を変更せず、安定運営の継続を担保



(*) 2023(令和5)年春開設予定の東京都パラスポーツトレーニングセンターの指定管理者募集に代表団体が応募しています。

【全体方針】 **味スタとの一体運営に、パラトレセンを加えた三位一体体制で、多摩の一大スポーツ拠点としてさらなる飛躍を目指します。**

◆「TOKYOスポーツレガシービジョン」への積極的参画

- 「TOKYOスポーツレガシービジョン」における「都立スポーツ施設の戦略的活用」の考えを取り入れ、18施設のネットワークの取組(「発信力の強化」・「ニーズ対応力の強化」・「一体的取組によるスポーツ振興」)に積極的に参画するとともに、ネットワークを活用した事業に取り組みます。また、当施設の特性を活かし、3つの取組(「スポーツでのさらなる活用」・「多様な活用による新たな体験の提供」・「施設・地域との連携」)による多様な活用を以下の通り推進します。

◆1期目の高い実績と2期目への新たな想い

- 開館翌年の2018(平成30)年は、開館当初から東京2020大会に向け閉館・改修している他施設の受け皿としての機能を全うし、メインアリーナ稼働率79.4%を達成しました。
- その後、2019(令和1)~2021(令和3)年は、ラグビーワールドカップ2019や東京2020大会、また新型コロナウイルス感染症拡大による閉館など様々な制約が生じ、通年営業は叶いませんでしたが、2大スポーツ大会開催の経験を習得するとともに、徹底した感染症対策の実施、臨機応変な対応と機動力をもった運営など、集客施設としての実践的なノウハウを積み上げ、指定管理の揺籃期でも健全な施設運営を継続することができました。
- 2期目は、これまでの過去4年間で培った様々な運営経験やノウハウを活かすことで、効率的な施設運営を行うとともに、さらに魅力的なコンテンツを展開し、スポーツ振興、地域貢献、周辺連携、文化発信、共生社会づくりなどに取組んでまいります。

【基本方針】

- 1 スポーツでのさらなる活用
 - 1) 多摩のスポーツ拠点としてのさらなる活用
 - 2) ラグビーワールドカップ2019・東京2020大会レガシーの継承
- 2 多様な活用による新たな体験の提供
 - 1) エンタメなど多様な利用の促進
- 3 施設・地域との連携 ~地域貢献事業によって街づくりに貢献する施設
 - 1) 味スタとの連携
 - 2) 地域と連携した文化発信の取組
 - 3) ダイバーシティを体現し、理解促進を超えた共生社会の実現に寄与
- 4 その他の取組
 - 1) 利用者ニーズの把握と社会情勢に合わせた柔軟な運営
 - 2) 行政施策との連携や協力

1期の運営ノウハウをさらに発展させ、当施設の特性である、世界大会、全国大会、全都大会等大規模大会の場としての機能を重視しつつ、「スポーツとエンタメのベストミックス」を実践します。



施設の提供、運営に関する業務

当施設が都民の健康増進を目的として設立された公の施設であるという役割を十分に認識し、施設提供にあたっては、公正な取扱いや他の体育・スポーツ施設、まちづくりの動きなどと連携を行いながら、さらに地域や社会に対して貢献する施設を目指す。

専用使用(メインアリーナ、サブアリーナ)

- 東京2020大会のレガシーを活用し、大型スポーツ大会誘致・開催に積極的に取り組む
- 1期目の確実な運営実績を活かし、商業スポーツイベントやコンサート等の利用をさらに促進
- 1期で築いたネットワークを活用し、地域のスポーツイベント等を開催
- 地元ネットワークを活かした効果的な主催者サポートの実施
- 一体管理することで来場者のアクセスを強化し利便性を提供
- 味スタと連携した駐車場の効率的な運用
- VIPの来場時の対応や、主催者等による会場の事前視察も実績を活かし確実にサポート
- 味スタとともにエリア一体となって競技大会・イベント等の盛り上げをサポート

個人使用(プール、トレーニングルーム)

- 指定管理実績の豊富な専門事業者によるサービス提供の実施
- 様々な都民の多様なニーズに対応した取組を実施

全体

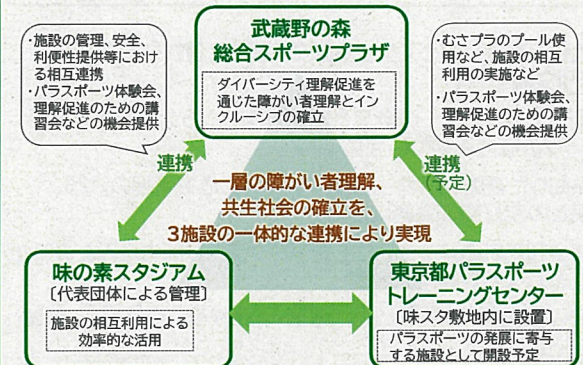
- 味スタとの一体運営により、災害時等の緊急時にも万全の体制で対応
- 1期のダイバーシティプロジェクトを継続、障がい者の一層の利用促進と満足度向上に傾注

1期目で定着し、使用ニーズにも的確に答えている休館日及び開場時間、利用の調整 利用料金は継続

スポーツの普及振興、利用者へのサービス向上等の事業に関する業務

スポーツ振興事業

- 東京2020大会レガシーで各世代のライフステージに対応し参加できるスポーツ機会を提供
- ダイバーシティ理解促進を通じた障がい者理解と共生社会の確立
- 障がいの有無を問わず、全ての人が共にスポーツに親しむ「スポーツ都市東京」の実現に寄与
- 地元自治体、パトレセン、近隣学校と連携したイベントや事業の実施
- 共生社会の確立に向けたさらなるスポーツイベント誘致



- 利用者満足度調査、地域住民との意見交換などにより利用者等のニーズや要望を把握。味スタとも情報を共有し、品質管理を実施
- 都立スポーツ施設等のネットワークに積極的に参画し、発信力やニーズ対応力の強化、一体的取組によるスポーツ振興を図る。

スポーツの日記念事業

- 味スタと連動し、当施設と周辺での一体運営にて東京2020大会レガシー事業として開催



Photo by エックスワン

地域貢献事業

- 近隣大学・味スタ・地元3市と連携した文化発信と地域活性化の推進
- デフリンピック招致・開催の機運醸成
- 地域課題の解決を図る各種事業実施



自主事業

- 施設特性を活かし、各利用者層のニーズに応じた魅力的なプログラムを展開



新たなプログラムの追加や「お楽しみレッスン」で、常に新鮮でワクワクするプログラム編成を提供

周辺連携事業

- 様々な主体との積極的な連携により、むさぶらならではの連携事業を実現

組織及び人材

- 各構成企業の専門性を活かした業務体制
- 地域及び関連企業との連携ネットワークによる万全な運営体制
- 味スタとの相互応援体制

ダイバーシティの理念を発信していくため、多様な人材の育成とともに、障がい者への理解・障がい者スポーツを指導できる人材育成にも取り組む。

当グループでは、経験豊富な正社員を適切に配置
 ※例:代表団体(派遣の正社員を計名配置)

施設の維持管理その他管理運営に関する業務

●施設、設備及び物品の維持管理

1期及び味スタの施設、設備及び物品の維持管理を継続して行ってきた体制により、安全・衛生・機能を確認し、一体運営のメリットを活かして適切な管理を行う。

- 味スタとの一体維持管理で人材や機材等の共有、コスト削減メリットを最大化
- 1期目の維持管理実績に基づき、計画的かつ効率的な予防保全を実施し、施設・設備を長寿命化
- スタッフ全員による日常的な気配りによる異常発見と迅速な対応
- イベント開催に伴う破損確認、及び原状復帰・再発防止策の実施

1期目の維持管理業務を実施する構成企業A(設備保守管理)、構成企業B(警備業務)、構成企業C(清掃業務)及び代表団体(物品管理)がその経験とノウハウを活かし、継続して確実に業務を遂行する

●危機管理及び災害対応

味スタと一体的な警備体制、防火・防災体制を構築することで、想定される危機を未然に防ぐとともに、災害時等に迅速かつ適切に対応

味スタとの一体運営により、災害時等の緊急時にも万全の体制で対応(再掲)

- 避難時の連携訓練は、味スタと合同で実施。味スタとの一体運営を活かし、一体の避難計画を策定することで、一時避難場所をAGFフィールド(西競技場)に設定。利用者の安全を十分に確保するには一体的な管理が不可欠
- 避難誘導訓練では、車いす利用者等も想定し、障がい者の安全確保を含め万全の備えを実施

味スタと連携した巡回警備を実施し、情報共有により機動的で迅速な対応を実現

- 巡回経路は、所要時間及び効率を考慮し、館内また外構部を一筆書きで全ての箇所を回れるように設定。監視カメラの死角になる部分等をカバーし、監視カメラにて確認される異常は都度、現地及び周辺巡回を行い対応することで警備員の存在を示し犯罪防止につなげることで利用者への安全を確保。
- 巡回警備またはカメラ監視において発見した事案は、影響の有無に限らず、味スタ防災センターと情報を共有し、味スタ及び当施設の一体での防犯に役立てている。

●感染拡大防止

不特定多数の方が利用される施設として、感染症等の拡大が起きないように、引き続き高い危機感を持って対策を講じていく。

- 館内及びYouTubeチャンネルで「入館者数が見える化」し、利用者へのコロナ防止対策を徹底
- 代表企業が「新型コロナウイルス感染症拡大予防対策」を策定し、グループで共有



合同消防訓練の様子



車いす利用者の避難誘導訓練

